



# みさきっ子

第37号

喜屋武小学校学校新聞

発行者：校長伊川治美

## 伊江島タッチューから絶景

### 伊江島・やんばる1泊2日の修学旅行

6年生の修学旅行が、10月29日30日の両日、伊江島、本部町で実施され、楽しい思い出づくりとなりました。一日目の伊江島探訪は、フェリーでの船酔いする児童も居ず無事に伊江島へ到着。その後、アーニーバイル碑、ミーシー公園を訪ね昼食。午後には、城山登山、湧出展望台、滑走路跡、ニャティヤ洞などを見学し、雄大な自然に満喫しました。城山登山（伊江島タッチュー）の後は、家族へのお土産を買いました。

午後には再びフェリーにて本部港に到着。すぐさま宿泊先のホテルへ移動しました。夕食後は、余興大会で盛り上がり楽しい時間を過ごしました。

二日目は、もとぶ元気村で、サバニやバナナボートの体験及び文化体験（陶芸の絵付け・ローソク作り）を行いました。また、昼食後にはパイナップル園で大切な家族のためにお土産を買って早めの帰校となりました。

今回の修学旅行は、集団のルールがしっかり守られ、あいさつも上手でホテルや添乗員及びカメラマンの皆さんからお褒めの言葉を頂きました。また、お互いの思いやりや協力心があり、見学コースや食事等のマナーもたいへん良く、更に自分たちで楽しもうとする気持ちができた有意義な修学旅行でした。一人一人が修学旅行で感じたことや楽しかったことを一言書いてもらいました。



- 稲嶺綾也  
伊江島タッチューの頂上の景色がとてもきれいだった。
- 北谷朋輝  
一番の思い出は、伊江島タッチューの頂上に登った時の景色です。とてもきれいで伊江島の畑が想像以上に多かったのでびっくりしました。
- 新田清崇  
厳しい山道をみんなとお話をしながら、伊江島タッチューに登ったことが一番の思い出。
- 島元浩志  
バスであゆむさんと一緒に色々な歌を歌いました。楽しい修学旅行でした。
- 志茂 佑  
ホテルでの夕べの集いで芸や夜、みんなでトランプなどをやったことです。とてもいい思い出をつくることでできて良かったです。また行きたいです。
- 玉井俊輔  
ホテルでみんなと楽しくやった夕べの集い。でもフォークダンスは恥ずかしかった。
- 南 右京  
タッチューに登って行くときの途中で頭を打って血がでたこと。痛かったけど、山登りは楽しかった。

- 伊禮樹音  
バスの中でみんなとしりとりをしたり、クイズをしたり、いろいろな遊びをしました。いろんな思い出ができたけど、バスの中でみんなで遊んだことが一番の思い出です。
- 宮西勇璃  
一日目の夜、寝るときにこわい話をしたことです。みんなで一カ所に集まって話をしたこわい話はとても面白かったです。
- 新垣 滯  
伊江島タッチューをあきらめないで登りいい景色を見られたこと。疲れたけど一生忘れられない景色を見ました。
- 千葉悠平  
ホテルに行って眠る時ホラー話をして怖かったです。怖い夢を見ないか心配だったけど、怖い夢を見なくてぐっすり眠ることができたので良かったです。
- 仲門音音  
もとぶ元気村でサバニやバナナボートに乗りたくさんの経験ができました。
- 仲西史也  
もとぶ元気村でバナナボートや伊江島タッチューに登ったりして、景色も良くて楽しかったです。ホテルでの寝心地も良かったです。
- 渡慶次汐音  
もとぶ元気村でのバナナボートです。海の上でバナナボートに乗りスタッフが引っ張ってくれてスピードも早くとても楽しい体験でした。
- 千葉涼平  
伊江島タッチューをあきらめず登ることができたことが一番の思い出。登る時は急な坂道を一生けんめい登った。
- 波平双葉  
ホテルでの夕べの集いです。初めての夜みんなで遊びました。とっても楽しかったです。
- 志茂恋桜  
バスの中で音楽やレクをしたり、伊江島タッチューやニャティヤ洞に行ったこと。
- 徳嶺亜佑夢  
夜、怖い話をして寝る時、夢を見るか心配だったけど怖い夢を見なかったのでとても安心しました。これが一番の思い出です。  
以上のことが最も印象に残ったようです。他にも多くの思い出を原稿用紙にまとめてあります。機会がありましたらご覧ください。



### 10月読書月間中の平均読書冊数

本とふれあう機会をつくり、読書に親しませ、読書意欲を高めることをねらいとして、10月1日～30日まで「読書月間」の期間でした。取り組みとして、読書郵便（自分が読んで面白かった本を友達や先生方に紹介する）や読書クイズ（必読図書等からの出題で給食時間で放送）さらに、読書のたび、読書感想文・画等の取り組みがありました。本の貸し出しは期間中3冊までとなり、多くの児童が好きな本にふれあいました。読書月間中の各学年平均読書冊数及び多読者は以下の通りです。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全体
男子	48.6	12.2	12.5	8	8.3	11.2	16.8
女子	37.5	23	13.4	10	5	9.8	16.5
全体	43.7	17	12.8	9.5	6.6	10.7	16.7

### 個人多読は 徳村保成（1年）さん 千葉涼平（6年）さん

#### <低学年>

徳村保成（54冊）波平瑛侍（49冊）千葉結斗（49冊）上原菜月（48冊）栄盛快夢（47冊）山城凜夏（47冊）高江洲大夢（44冊）大村空（33冊）幸地りみ（27冊）宮城優里菜（24冊）

#### <高学年>

千葉涼平（37冊）伊禮心音（26冊）渡慶次汐音（24冊）屋宜美羽（22冊）玉井俊輔（19冊）仲間春翔（18冊）志茂恋桜（16冊）新田海空（14冊）稲嶺綾也（13冊）

### 社会見学1・2年 宮平乳業・サン食品

私たちの住んでいる糸満市について調べ生活科の学習に役立てようと西崎町にある宮平乳業とサン食品を11月6日（金）見学しました。見学した後日、1・2年生のみなさんはお礼文を書きました。2年生の幸地りみさんは、「サン食品のみなさんおいしいおそばをありがとうございました。サン食品は、おきなわそばだけではなくて、うどんやラーメン、やきそばがありました。そばはとてもおいしかったです」とお礼文を書きました。

また、2年生の宮城優里菜さんは、「宮平乳業の宮城さんいろいろな話をしてくれてありがとうございました。はじめて分かったことがいっぱいありました」とお礼文をつづりました。みなさんにとって楽しい見学でした。

### 社会見学3・4年 ぐらしきダム見学

一方3・4年生は、ぐらしきダムを訪ね、これからの学習に役立てることをねらいとした見学でした。

4年生の北谷晃人さんは「ダムの水は浄水場に送るだけではなく川にも送っていること。ダムの広さにビックリしたこと」など、いろいろ学べたことをまとめていました。また、伊禮心音さんは、「展望台から見た風景は、とてもきれいに見えて、ダムが大きく見えたので、きれいでした」とお話していました。みなさんは、ダムのことについてたくさん学んだようでした。今後の学習にいかすことでしょう。

### 子どもが育つ魔法の言葉より

ドロシー・ロー・ノルト、レイチャル・ハリス 著

#### 「責任感を育てる」

自分のしたことがどんな結果になるのかを、子どもは、実際の経験や遊びをとおして学んでゆきます。幼い子どもは、床にわざとスプーンを投げ落とします。そして、お母さんが拾ってくればまた落とします。その子は、自分のしたことに親がどう反応するかを見て楽しみながら、原因と結果のゲームをやっているのです。親がスプーンを拾うのをやめるまで、このゲームは続きます。

子どもは成長するにしたがって、自分の行為が周囲の人々にどんな結果をもたらすかに対して、敏感になります。こうして、子どもは、自分のしたことには責任を取らなくてはならないのだということを学び始めるのです。そんなとき、子どもが、あまりにも自分を責めたり、失敗を恐れ引込みじあんになったりしないように、親は気をつけたいものです。子どもは、素直に自分の過ちを認めるものです。子どもは、親の喜ぶ顔を見るのが大好きなのです。

.....中略

子どもの努力を認め、褒めることはとても大切です。そうすれば、子どもは、失敗したあと、きちんと対処することは決していやなことではないのだということを学ぶことができます。努力を認めてもらえば、子どもはそれを覚え、失敗への対処の仕方もだんだん良くなってゆくのです。

### 1年生おいしいヒラヤーチづくり

ヒラヤーチづくりに1年生が挑戦。おいしそうなヒラヤーチが完成した後は全児童へ配食。みんなでヒラヤーチを味わいました。このヒラヤーチづくりは、11月12日（木）、生活科の授業のなかで計画され、エプロン姿で一生懸命に挑戦しました。

おおむらそらは、「1ねんせいみんなでつくり、たべましたがおいしかったです。5ねんせいのおにいさん、おねえさんたちにひらやちをあげたら、おいしいとってくれたから、またつくりたいです。みんなでつくるのがたのしみになりました」と日記に綴っていました。これからも、お母さんの手伝いをしながら、美味しいヒラヤーチづくりにチャレンジすることでしょう。

### 地区読書感想文・画コンクール



\*感想文の入賞者は、次号で掲載します。

	自由	指定
1年	<佳作> 上原菜月	<入選> 山城凜夏
2年	<優秀> 小堀端乙能	<入選> 宮城優里菜
3年	<入選> 仲間大虎	<佳作> 上原佳月
4年	<優良> 新田海空	<優良> 仲間花優音
5年	<入選> 新里察得	<入選> 徳嶺いな
6年	<入選> 渡慶次汐音	<入選> 千葉涼平